

2022年3月期第2四半期 決算補足説明資料

東京インキ株式会社

(証券コード: 4635)



- 1. 22年3月期第2四半期 業績ハイライト
- 2. 22年3月期第2四半期 売上高·営業利益増減要因
- 3. 22年3月期第2四半期 セグメント別業績サマリー
- 4. 22年3月期第2四半期 連結貸借対照表
- 5. 参考情報



■ 1.22年3月期第2四半期 業績ハイライト



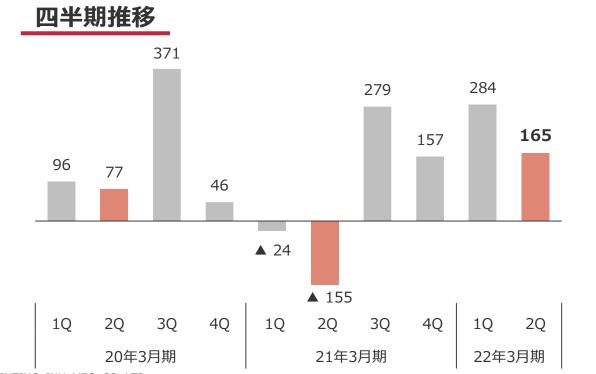
インキ事業及び化成品事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から需要の一部回復により増収増益、加工品事業は 主力の土木資材が災害復旧需要の落着きで若干減収となるも、全社的な経費節減等コストダウン効果もあり増収増益

売上高 20,213百万円 前年同期比 + 2,437百万円 (+13.7%)



四半期推移

11,440 10,450 10,669 10,407 10,165 9,981 10,047 10,012 9,040 8,736 1Q 2Q 3Q 40 1Q 2Q 3Q 40 1Q 20 20年3月期 21年3月期 22年3月期 Copyright(c)2021 TOKYO PRINTING INK MFG. CO.,LTD.

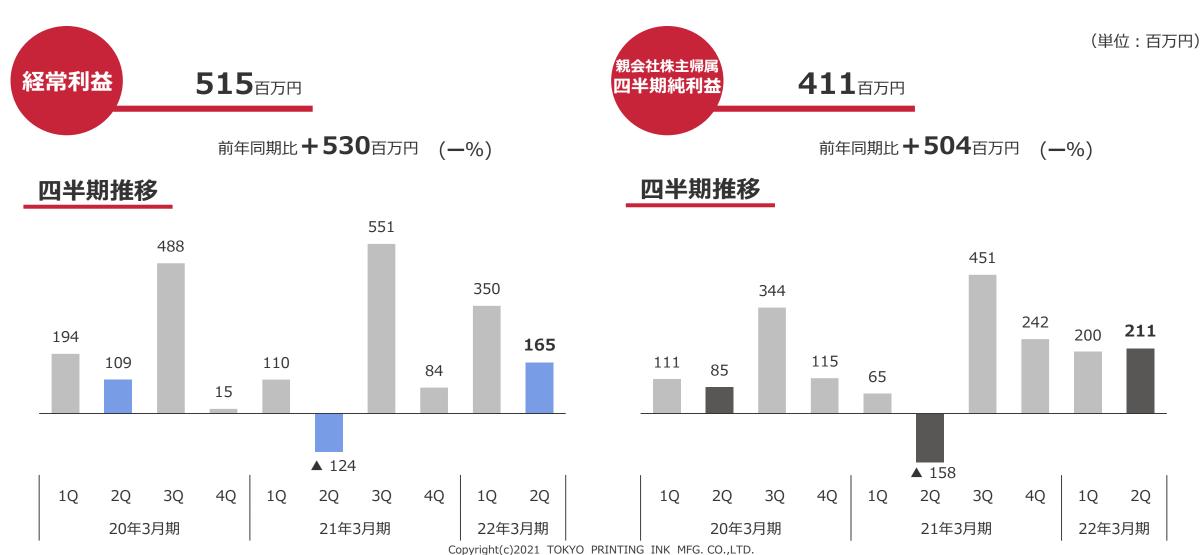




■ 1.22年3月期第2四半期 業績ハイライト

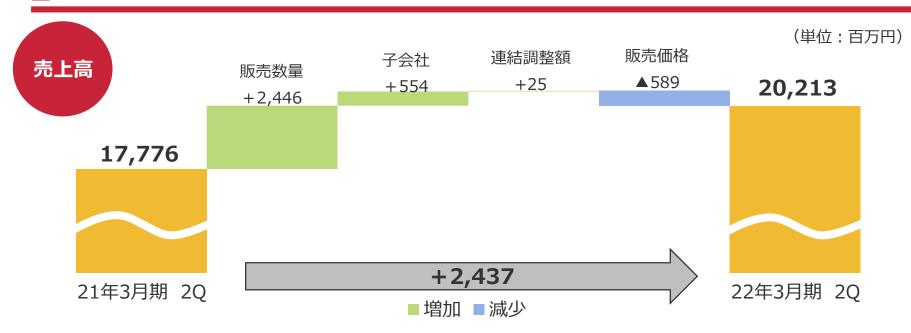


経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益も、営業利益同様前年同四半期比で大幅な増益

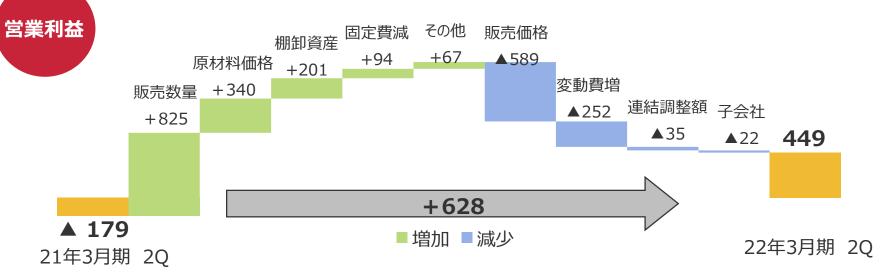


■ 2.22年3月期第2四半期 売上高·営業利益増減要因





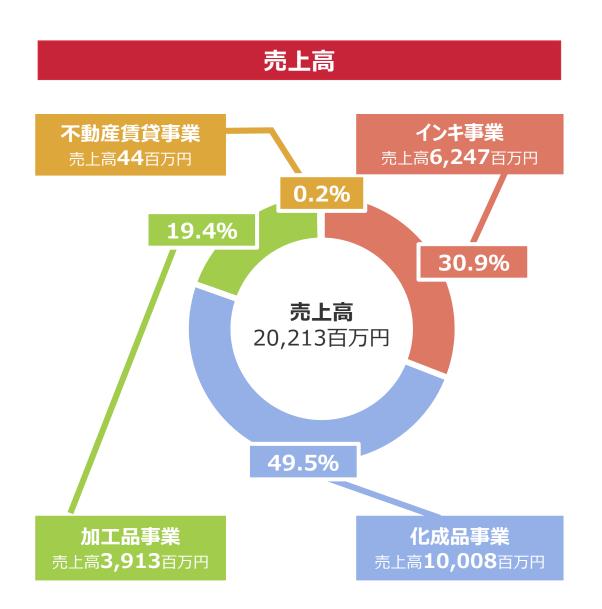
販売復調による数量増加に加え、 前期に株式取得し連結子会社化 した荒川塗料工業㈱が寄与

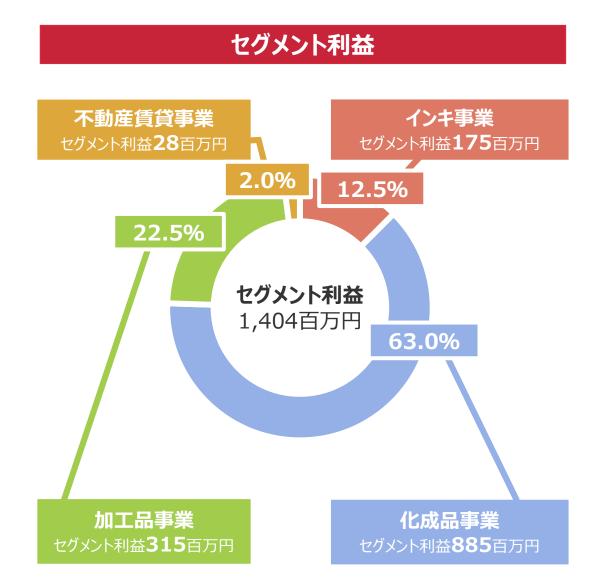


販売数量増加に伴う変動費増や 販売構成変化の影響があったも のの、数量の増加、全社的なコストダウンによる合理化効果が牽引 し大幅増益

■ 3. 22年3月期第2四半期 セグメント別業績サマリー







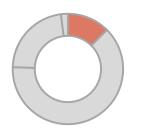
■ 3-1. 22年3月期第2四半期 インキ事業



売上高構成比 30.9%



セグメント利益構成比 12.5%



売上高 **6,247**百万円

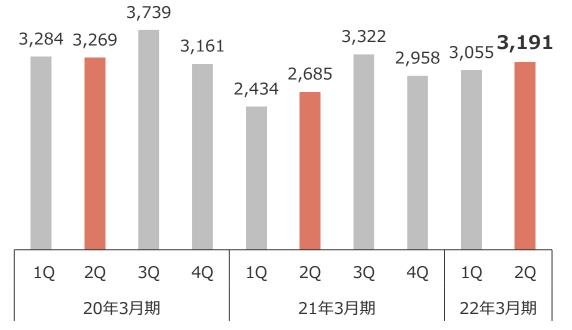
前年同期比+1,126百万円 (+22.0%) セグメント利益 175百万円

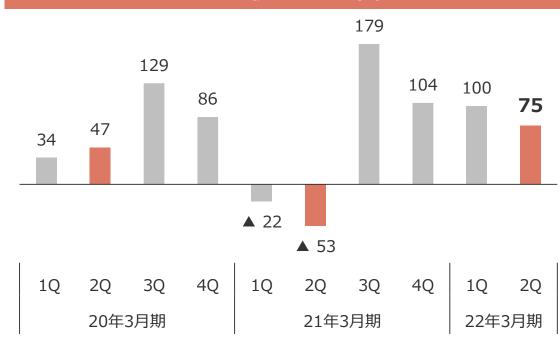
前年同期比+251百万円

●コロナ影響で低迷していた需要に一定の回復が見られたこと、環境対応製品や 機能性製品が堅調に推移、重点顧客への販売強化などにより前年同四半期に 比べ増収増益

(単位:百万円)

四半期推移 売上高





■ 3-②. 22年3月期第2四半期 化成品事業



売上高構成比 49.5%



セグメント利益構成比 63.0%



売上高 10,008百万円

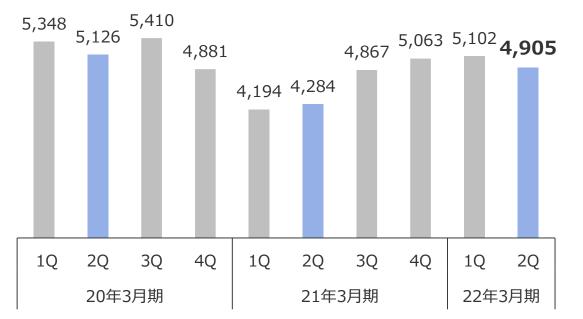
前年同期比+1,529百万円 (+18.0%) セグメント利益 885百万円

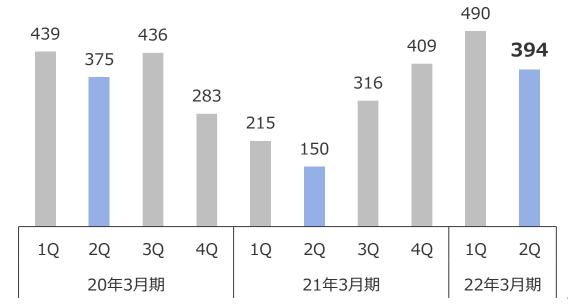
前年同期比+518百万円 (+141.6%)

●コロナ影響で需要が低迷していた主力製品である自動車用マスターバッチ・ 樹脂コンパウンドやフィルム・容器用マスターバッチに一定の回復が見られたこと、 重点顧客への販売強化などにより前年同四半期に比べ増収増益

(単位:百万円)

四半期推移 売上高





■ 3-③. 22年3月期第2四半期 加工品事業



売上高構成比 19.4% セグメント利益構成比 22.5%





売上高 3,913百万円

前年同期比▲242百万円

(▲5.8%)

セグメント利益 315百万円

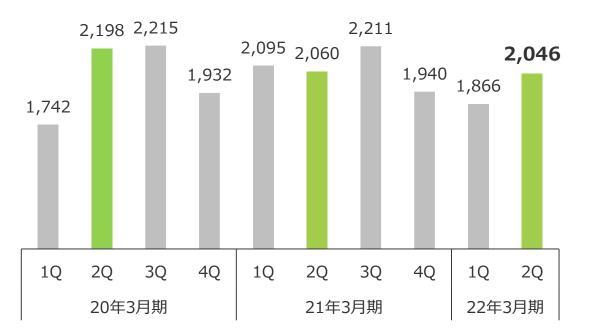
前年同期比▲170百万円

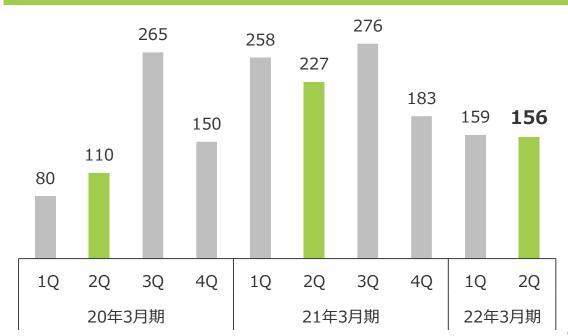
(▲35.1%**)**

●ネトロン水処理用途は好調に推移、コロナ影響で需要が低迷していた一軸延伸フィルム、農業資材は一定の回復が見られたが、前年、災害復旧需要により利益に大きく貢献した土木資材の需要が落ち着いた影響が大きく、前年同四半期に比べ減収減益

(単位:百万円)

四半期推移 売上高





■ 3-4.22年3月期第2四半期 不動産賃貸事業



売上高構成比 0.2%



セグメント利益構成比 2.0%



売上高 44百万円

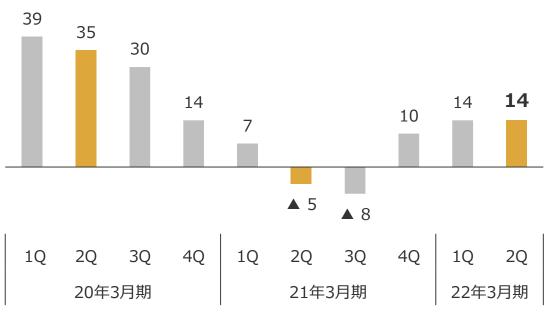
前年同期比+24百万円 (+121.3%) セグメント利益 28百万円

前年同期比+26百万円 (一%)

● 昨年建設した戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」および本社ビル賃貸 オフィス稼働が堅調に推移し、前年同四半期に比べ増収増益

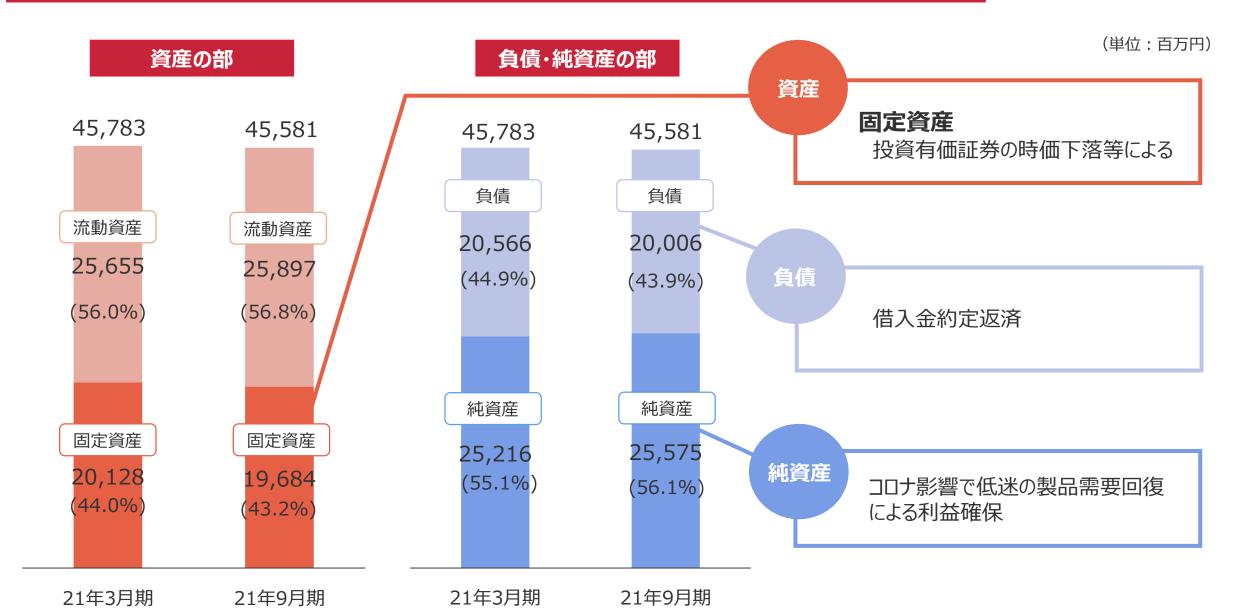
(単位:百万円)

四半期推移 売上高 74 74 74 36 22 22 19 11 20 10 2Q 3Q 40 10 2Q 3Q 40 1Q 20年3月期 21年3月期 22年3月期



4.22年3月期第2四半期 連結貸借対照表







5.【参考情報】22年3月期第2四半期 連結損益計算書(前年対比)



	前第2四半期 連結累計期間	構成比 (%)	当第2四半期 連結累計期間	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	参考 第2四半期業績予想 21年5月19日公表値	増減
売上高	17,776	100.0	20,213	100.0	+2,437	13.7	20,650	▲ 436
売上原価	15,072	84.8	16,780	83.0	+1,708	11.3	-	-
売上総利益	2,703	15.2	3,432	17.0	+729	27.0	-	-
販売費及び一般管理費	2,883	16.2	2,983	14.8	+100	3.5	-	-
営業利益(損失)	▲ 179	1.0	449	2.2	+628	-	350	+99
営業外損益	165	0.9	66	0.3	▲ 98	▲ 59.7	-	-
経常利益(損失)	▲ 14	▲ 0.1	515	2.6	+530	-	410	+105
親会社株主に帰属する 四半期純利益(損失)	▲ 93	▲ 0.5	411	2.0	+504	-	290	+121



5.【参考情報】22年3月期 第1~第2四半期 連結業績推移(前年対比)



	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	20/4~6	21/4~6	20/7~9	21/7~9	20/4~20/9	21/4~21/9
売上高	8,736	10,047	9,040	10,165	17,776	20,213
営業利益(損失)	▲ 24	284	▲ 155	165	▲ 179	449
経常利益(損失)	110	350	▲ 124	165	▲ 14	515
親会社株主に帰属する 四半期純利益(損失)	65	200	▲ 158	211	▲ 93	411



5. 【参考情報】22年3月期第2四半期 事業別セグメント情報 売上高・セグメント利益 **TOKYOink**



(単位:百万円)

	売上高				セグメント利益			
報告セグメント	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
インキ事業	5,120	6,247	+1,126	22.0	▲ 75	175	+251	-
化成品事業	8,479	10,008	+1,529	18.0	366	885	+518	141.6
加工品事業	4,156	3,913	▲ 242	▲ 5.8	486	315	170	▲ 35.1
不動産賃貸事業	20	44	+24	121.3	2	28	+26	-
セグメント合計	17,776	20,213	+2,437	13.7	778	1,404	+625	80.3
全社費用他 ※					▲ 958	▲ 955	+3	-
連結営業利益(損失)					▲ 179	449	+628	-

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費



5. 【参考情報】22年3月期 セグメント売上高 第1~第2四半期推移(前年対比)



	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	20/4~6	21/4~6	20/7~9	21/7~9	20/4~20/9	21/4~21/9
インキ事業	2,434	3,055	2,685	3,191	5,120	6,247
化成品事業	4,194	5,102	4,284	4,905	8,479	10,008
加工品事業	2,095	1,866	2,060	2,046	4,156	3,913
不動産賃貸事業	11	22	9	22	20	44
セグメント合計	8,736	10,047	9,040	10,165	17,776	20,213



5. 【参考情報】22年3月期 セグメント利益 第1~第2四半期推移(前年対比)



	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	20/4~6	21/4~6	20/7~9	21/7~9	20/4~20/9	21/4~21/9
インキ事業	▲ 22	100	▲ 53	75	▲ 75	175
化成品事業	215	490	150	394	366	885
加工品事業	258	159	227	156	486	315
不動産賃貸事業	7	14	A 5	14	2	28
セグメント利益	459	764	319	639	778	1,404
全社費用他	▲ 483	▲ 480	▲ 475	▲ 474	▲ 958	▲ 955
連結 営業利益(損失)	▲ 24	284	▲ 155	165	▲ 179	449



5.【参考情報】22年3月期第2四半期 連結貸借対照表



	前連結 会計年度末	当第2四半期 連結会計期間	増減額	増減率 (%)
流動資産	25,655	25,897	+242	0.9
固定資産	20,128	19,684	▲ 443	▲ 2.2
有·無形固定資産	14,636	14,622	▲ 13	▲ 0.1
投資その他	5,492	5,062	▲ 429	▲ 7.8
資産合計	45,783	45,581	▲ 201	▲ 0.4
流動負債	15,032	15,179	+147	1.0
固定負債	5,533	4,827	▲ 706	▲ 12.8
負債合計	20,566	20,006	▲ 559	▲ 2.7
純資産合計	25,216	25,575	+358	1.4
(自己資本比率)	54.74%	55.77%	+1.03%	-
負債·純資産合計	45,783	45,581	▲ 201	▲ 0.4



5. 【参考情報】22年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書



摘要	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
I.営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	343	1,239	+895
Ⅱ.投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲618	▲ 411	+206
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	▲274	827	+1,102
Ⅲ.財務活動によるキャッシュ・フロー	1,569	▲833	▲ 2,402
現金同等物の期首残高	1,576	3,161	+1,585
現金同等物の期末残高	2,863	3,175	+312



- ●本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではございません
- ●記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございませんまた、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願い致します



